

産業振興計画の読み方について

令和元年 10月 19日

依光晃一郎

1、政治とは、未来を良くするためのもの

では、良い未来とは何か？

では、良い未来のために、今何をすべきか。 →論理的に語れる政治家。

→産業振興計画＝雇用を作る。所得を上げる。

2、政治は、何にお金を使うかを決める。

少ない予算で、効率的な成果。

時代を見通して、先行投資。 ←日本の産業構造の変化。技術革新。人口動態。

3、産業振興計画の特色

・農・林・水産・商工業・観光をひとまとめた、総合計画

・SWOT分析、マトリックス分析、数値目標、PDCAサイクルの4つを活用

・横の連携を意識して、トータルで成果がでるように。

→地産外商＝一緒に東京に売り込もう！アンテナショップ

→観光キャンペーン＝高知に来てもらって、1次産品を食べてもらおう。

・食品加工業の振興

←橋本県政時代は、企業誘致など、県外企業に目が向く？

4、時代を見通すために、データを分析

・人口推計 →人口ビジョン →「まち・ひと・しごと創生総合戦略」・・・全国市町村作成

5、地域アクションプラン

・地域地域で雇用を生み出すためのチャレンジ

商品開発

観光拠点整備

6、議員の役割

・費用対効果が良い計画になっているか？

・議員の調査活動から、新たな戦略を生み出す。→鍛冶屋の学校

~~~~~

第3回 KOCHI 自民党政経塾

令和元年 11月 30日 14:00~15:30 自民党高知県連 3階会議室



本日の資料